



## 農業振興を推進します!

温暖な気候で農業に適した千葉市、年間を通して幅広い農産物が生産されています。

千葉市では、市内で生産された農産物をはじめ、加工食品も含めた千葉市の「食」の認知度を高めるため、生産者・事業者との検討を経て、食のブランド「千(せん)」を立ち上げました。



また、地産地消を推奨するための取り組みでは「千葉市つくたべプロジェクト」や、市内で製造された加工食品を手土産として使うための「食のギフトセレクション」が行われてきました。森山かずひろは、これら千葉市の農業を盛り上げる取り組みを推進してきました。

そのようなことから、今回は、「千葉のいいもの販売会」が千葉みなと・さんばしひろば(ケーズハーバ

一前)で開催されたことから、現地を視察させていただきました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により卸先を失った農産物・農産加工品・飲食店・雑貨店を『買って応援』できる販売会とされていました。なかでも、千葉市の農業振興を引き続き推進していきたいと考え、ファームサポート千葉合同会社様からお話を伺い、地産地消の「千葉市つくたべプロジェクト」(作って食べる)が定着しつつあることなど、これまでの取り組みの効果・成果を確認できました。



## 交通弱者に対する思いやりのある、新たな交通手段の実現に向けて!

GACHA(ガチャ)の実証実験と体験試乗会を視察しました。

車体外観は、ガチャガチャのトイカプセルをイメージした形状で、車内のシートは、運転席は無く、前後にラウンド型のベンチシートが取り付けしていました。

フィンランドの会社・センシブル4が開発し、日本の無印良品がデザインした自動運転バスGACHA(ガチャ)は、デジタルマップとセンシング技術で、窓にワイパーもありませんが、大雨や霧、雪など、あらゆる気象条件で走行できるとされています。

交通弱者に対する思いやりのある、新たな交通手段の確立に期待し、引き続き、市として、交通のラストワンマイルの課題に、着実に繋がる取り組みを展開されることを要望します。



千葉市、(株)良品計画、(株)MUJI HOUSE、UR都市機構の4者で、千葉市・花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化に関する連携協定が締結され、その一環としてGACHAの実証実験と体験試乗会が開催されました。

# 平和公園の再整備の進捗について

## 墓地に対する価値観やニーズの多様化への対応を！

近年の少子高齢化や核家族化などにより社会環境の変化が生じ、市民の墓地に対する価値観やニーズの多様化への対応が求められています。そのようなことから、現在、市営霊園の平和公園では合葬式樹木墓地や芝生墓地など新たな墓地区画を整備しています。令和5年度に「合葬式樹木葬墓地」、令和7年度に「普通墓地」、そして令和8年度以降に「芝生墓地」を供給開始できるよう整備を進めています。



平和公園墓地整備の作業現場・2022.7月撮影



### 【整備スケジュール】

5年度	墓地供給開始 (合葬式樹木葬墓地)
7年度	墓地供給開始 (普通墓地 3.0㎡)
8年度	墓地供給開始 (芝生墓地 1.5㎡)
9年度	墓地供給開始 (芝生墓地 2.0㎡)

### 【整備区画数等】

合葬式樹木葬墓地	30,400体
普通墓地	3.0㎡ 762区画
芝生墓地	2.0㎡ 974区画
芝生墓地	1.5㎡ 2,422区画

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉県議会議員

# 森山かずひろ

Tel.043-245-5483 Fax.043-245-5584  
<https://moriyama-kazuhiro.com/>